

# INFORMATION



2026年1月5日  
株式会社インテック  
代表取締役社長 斎田 秀三

## 2026年 年頭所感

新年あけましておめでとうございます。

2025年は世界的な人手不足の深刻化や為替変動、地政学リスクによるサプライチェーン混乱など多くの課題に直面する中、日本経済は日経平均株価が史上最高値を更新し、企業業績も好調に推移するなど明るい兆しが見られました。

また、生成AIの普及やクラウド技術の高度化により、IT分野はかつてないスピードで進展し、企業におけるDX推進を含む情報化投資の重要性が一層高まった一年となりました。

当社は2026年も引き続きITによる社会課題の解決を目指し、最新テクノロジーを活用した価値創造に挑戦しながら安定した事業基盤とDX領域の拡大に努めてまいります。特に、生成AIやクラウドサービスの活用を一層推進し、お客さまとの長期的な関係強化や経営戦略に直結したIT支援を加速いたします。

さらに、7月1日付でTISと合併し「TISI株式会社」として新たな一歩を踏み出します。これにより、強固な経営基盤の構築と経営資源の最適配置を実現し、より高い企業価値の創出を目指してまいります。

本年も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上

インテックはトランポリン日本代表オフィシャルトップスポンサーです。

### 株式会社インテックについて (<https://www.intec.co.jp/>)

お客さまの経営戦略に沿った情報化戦略の立案からシステムの企画、開発、アウトソーシング、サービス提供、運用保守まで、IT分野において幅広く事業を展開しています。インテックは、1964年の創業以来培ってきた技術力をもとに、AI、RPA等のデジタル技術の活用や、新たな市場の創造にも積極的に挑戦しています。常にオープンな姿勢で、人、企業、社会を技術でつなぎ、自らも変革しながら「豊かなデジタル社会の一翼を担う」企業としてお客さまに新しい価値を提供していきます。

### TISインテックグループについて

TISインテックグループは、国内外グループ2万人を超える社員が『ITで、社会の願い叶えよう。』を合言葉に、「金融包摂」「都市への集中・地方の衰退」「低・脱炭素化」「健康問題」を中心としたさまざまな社会課題の解決に向けてITサービスを提供しています。デジタル技術を駆使したムーバーとして新たな価値を創造し、人々の幸せと持続可能な豊かな社会の実現に貢献します。

### 【本件に関するお問合わせ先】

#### ◆報道関係からのお問い合わせ先

株式会社インテック テクノロジー&マーケティング本部 広報部 小川、長谷、稻垣

E-Mail : [press@intec.co.jp](mailto:press@intec.co.jp)